

# はじめに

---

このたび、緑園地区社会福祉協議会の「緑園地区社協30年のあゆみ」を作成する事となりました。

横浜市の地区社協が誕生したのは今から70年前の昭和27年です。令和4年現在、横浜では18の区社協と256の地区社協が活動しています。

昭和28年に横浜市社協から発行された「地区社協活動事例」によると、地区社協は「その地域に住む人たちのために、あらゆる社会問題を探り上げて住民の生活環境を精神的にも物質的にも、健康的にも文化的にも豊かなものにしようとする大目的をもつて出発した」とあります。そして平成12年の社会福祉法制定に伴い、市・区社協が「地域福祉を推進するための団体」と明示されたことにより、地区社協は「地域福祉保健活動の中心」としてその力が大きく求められています。今般、第4期福祉保健計画（R3-R7年）の策定に当たり検討会や研修会を重ねてきましたが、「地区社協の活動が住民に伝わっていない、知られていない」とのご意見を頂きました。

緑園地区社協は、令和4年に発足以来30年を迎えました。また地域の街の様子も大きく様変わりしてきています。これを機に原点に立ち返るとともに、今後ますます必要となる「誰もが健康で、安全で、安心して暮らせるまち！」をめざし、活動の基本を纏め将来の指針とすべく本誌の作成に取り組みました。この「あゆみ」により、緑園地区社協の役員や連合自治会ははじめ各種団体の皆様方と情報共有を図り活動の「つながり」を作ることが出来れば幸いです。

緑園地区社協30周年記念誌編纂委員会

作成に当たり、横浜市社会福祉協議会発行の「地区社協のてびき」を参考にしました。

文中の“緑園地区社協”は、“緑園地区社会福祉協議会”の省略形です。